



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 トレーディア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9365 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 安雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長

(氏名) 山口 勝

TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,926	△6.2	47	63.2	62	6.8	35	△7.5
25年3月期第2四半期	7,382	△5.3	29	△77.3	58	△61.5	38	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 74百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.44	—
25年3月期第2四半期	2.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,798		2,427			24.8
25年3月期	9,499		2,426			25.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,427百万円 25年3月期 2,426百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,050	△1.8	170	141.4	180	41.6	105	15.9	7.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,700,000 株	25年3月期	14,700,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	42,075 株	25年3月期	41,925 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	14,658,000 株	25年3月期2Q	14,659,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想を修正しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成 26 年 3 月期の個別業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△1.7	160	46.5	90	18.5	6.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、平成 25 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期の通期個別業績予想を修正しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策への期待感が持続していることから、大企業を中心に企業収益や個人消費の改善がみられる等、緩やかに回復しつつあるものの、海外経済の下振れが引き続き景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、海外拠点の整備と拡充を行うとともに、積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期間比7.1%減少し、売上高は69億26百万円余(対前年同期間4億56百万円余減)となりました。損益面につきましては、人員減に伴う人件費の減少がありました。売上高が減少したことにより、営業総利益は前年同期間比5.2%減少し5億50百万円余(対前年同期間29百万円余減)となりました。営業利益は、一般管理費が減少したことにより、47百万円余(対前年同期間18百万円余増)、経常利益は62百万円余(対前年同期間3百万円余増)、四半期純利益は35百万円余(対前年同期間2百万円余減)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨が増加しましたが、機械機器製品が減少したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比12.9%減少し15億57百万円余、セグメント損失は87百万円余(前年同期間はセグメント損失68百万円余)の計上となりました。

## ②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品、雑貨が減少したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比6.0%減少し27億23百万円余、セグメント利益は53百万円余(前年同期間はセグメント利益14百万円余)の計上となりました。

## ③国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は、東南アジア向けは順調に推移しましたが、北米、中国向けが低調に推移したことにより、国際輸出部門の売上高は前年同期間比11.7%減少し6億29百万円余の計上となりました。国際輸入は、中国からの取扱いは伸び悩みましたが、東南アジア諸国からの取扱いが好調に推移したことにより、国際輸入部門の売上高は前年同期間比2.0%増加し19億12百万円余の計上となりました。その結果、国際部門の売上高は前年同期間比1.8%減少し25億41百万円余、セグメント利益は70百万円余(前年同期間はセグメント利益70百万円余)の計上となりました。

## ④その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比3.2%減少し1億46百万円余となり、セグメント利益は10百万円余(前年同期間はセグメント利益12百万円余)の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入42百万円余を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億99百万円余増加し、97億98百万円余となりました。流動資産は2億94百万円余増の34億95百万円余、固定資産は5百万円余増の63億3百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、立替金の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、減価償却による減少等もありますが、投資有価証券の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億76百万円余増加し、44億39百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、77百万円余減少し29億31百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、0.9百万円余増加し、24億27百万円余となりました。これは、利益剰余金の減少がありますが、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により減少した資金は、48百万円余となりました。これは主に、減価償却費1億21百万円余、営業債務の増加額91百万円余ありますが、その他の資産の増加額1億61百万円余、退職給付引当金の減少額81百万円余によるものであります。投資活動により減少した資金は20百万円余となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13百万円余、無形固定資産の取得による支出14百万円余によるものであります。財務活動により増加した資金は1億42百万円余となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出5億2百万円余、配当金の支払額73百万円余ありますが、長期借入れによる収入5億円、短期借入金の純増加額2億40百万円によるものであります。以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末より74百万円余増加し8億20百万円余となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績を勘案し、平成25年5月14日に公表いたしました平成26年3月期通期の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

通期の連結及び個別業績予想につきましては、輸出部門の取扱高が、各種経済政策による円安基調にあるものの、昨年からの自動車関連部品及び中国向け建機が回復していないこと等を主因として、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回の予想を下回る見込みとなりました。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,550	210	220	128	8.73
今回修正予想 (B)	14,050	170	180	105	7.16
増減額 (B-A)	△500	△40	△40	△23	—
増減率 (%)	△3.4	△19.0	△18.2	△18.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	14,310	70	127	90	6.18

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,500	200	113	7.70
今回修正予想 (B)	14,000	160	90	6.13
増減額 (B-A)	△500	△40	△23	—
増減率 (%)	△3.4	△20.0	△20.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	14,240	109	75	5.17

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	746,352	820,448
受取手形及び売掛金	1,701,286	1,749,243
繰延税金資産	119,192	119,192
立替金	510,330	691,861
その他	124,836	115,721
貸倒引当金	△1,163	△1,270
流動資産合計	3,200,834	3,495,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880,050	1,811,867
機械装置及び運搬具(純額)	100,124	87,393
工具、器具及び備品(純額)	13,432	13,330
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産(純額)	75,971	70,100
有形固定資産合計	3,851,234	3,764,348
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	136,350	122,489
無形固定資産合計	170,911	157,049
投資その他の資産		
投資有価証券	979,368	1,043,592
差入保証金	791,625	763,048
その他	509,546	585,661
貸倒引当金	△4,115	△9,927
投資その他の資産合計	2,276,424	2,382,375
固定資産合計	6,298,570	6,303,773
資産合計	9,499,404	9,798,970



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,234,632	1,326,086
短期借入金	2,304,402	2,624,402
リース債務	34,398	25,205
未払法人税等	13,406	27,938
賞与引当金	202,269	190,270
その他	273,787	245,519
流動負債合計	4,062,896	4,439,421
固定負債		
長期借入金	2,635,874	2,553,173
リース債務	46,980	49,880
繰延税金負債	171,584	193,225
退職給付引当金	2,460	—
役員退職慰労引当金	64,692	61,477
長期未払金	88,182	74,153
固定負債合計	3,009,774	2,931,910
負債合計	7,072,670	7,371,332
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,397,253	1,359,709
自己株式	△9,200	△9,224
株主資本合計	2,293,480	2,255,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,253	171,726
その他の包括利益累計額合計	133,253	171,726
純資産合計	2,426,734	2,427,638
負債純資産合計	9,499,404	9,798,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収入	7,382,439	6,926,340
営業費用	6,802,171	6,376,031
営業総利益	580,267	550,308
一般管理費	551,144	502,765
営業利益	29,123	47,543
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,745	20,917
持分法による投資利益	16,123	9,711
その他	40,120	36,881
営業外収益合計	75,989	67,510
営業外費用		
支払利息	44,052	45,544
その他	2,338	6,796
営業外費用合計	46,390	52,341
経常利益	58,722	62,712
特別利益		
固定資産処分益	469	—
特別利益合計	469	—
特別損失		
固定資産除売却損	85	—
投資有価証券評価損	100	—
ゴルフ会員権償還損	—	5,000
特別損失合計	185	5,000
税金等調整前四半期純利益	59,006	57,712
法人税等	20,306	21,906
少数株主損益調整前四半期純利益	38,700	35,806
四半期純利益	38,700	35,806

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,700	35,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,122	38,472
その他の包括利益合計	△65,122	38,472
四半期包括利益	△26,422	74,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,422	74,279
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	59,006	57,712
減価償却費	95,147	121,123
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△133,573	△81,870
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△991	5,918
受取利息及び受取配当金	△19,745	△20,917
支払利息	44,052	45,544
持分法による投資損益 (△は益)	△16,123	△9,711
有形固定資産売却損益 (△は益)	△384	—
その他の損益 (△は益)	△671	2,497
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,079	△11,999
投資有価証券評価損益 (△は益)	100	—
営業債権の増減額 (△は増加)	△26,175	△53,768
その他の資産の増減額 (△は増加)	△152,723	△161,360
営業債務の増減額 (△は減少)	10,361	91,454
その他の負債の増減額 (△は減少)	14,278	△13,132
小計	△117,361	△28,507
利息及び配当金の受取額	19,745	20,917
利息の支払額	△62,122	△42,606
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△24,639	2,157
営業活動によるキャッシュ・フロー	△184,377	△48,038
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△599,251	△13,394
有形固定資産の売却による収入	470	—
無形固定資産の取得による支出	△13,712	△14,029
投資有価証券の取得による支出	△2,328	△2,593
投資有価証券の売却による収入	—	1,050
貸付金の回収による収入	3,600	19,736
その他の収入	84,140	8,796
その他の支出	△24,722	△19,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△551,805	△20,213
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△315	△24
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△510,000	240,000
長期借入金の返済による支出	△421,505	△502,701
長期借入れによる収入	1,850,000	500,000
配当金の支払額	△73,353	△73,350
その他の支出	—	△21,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	844,825	142,349
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	108,642	74,096
現金及び現金同等物の期首残高	653,449	746,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,092	820,448

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際				
営業収入							
外部顧客への売上高	1,786,847	2,894,758	2,588,454	112,378	7,382,439	—	7,382,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,476	1,192	—	39,162	41,831	△41,831	—
計	1,788,324	2,895,951	2,588,454	151,540	7,424,271	△41,831	7,382,439
セグメント利益又は損失(△)	△68,521	14,744	70,326	12,574	29,123	—	29,123

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

2. 調整額△41,831千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際				
営業収入							
外部顧客への売上高	1,556,197	2,723,160	2,541,956	105,025	6,926,340	—	6,926,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	859	93	—	41,657	42,610	△42,610	—
計	1,557,057	2,723,254	2,541,956	146,682	6,968,950	△42,610	6,926,340
セグメント利益又は損失(△)	△87,319	53,195	70,673	10,994	47,543	—	47,543

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

2. 調整額△42,610千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。